

# 人間らしく働ける環境づくりこそ ゆき届いた教育、医療、介護に不可欠です

人を育てる教育や保育、人間の尊厳を保障する介護や看護をすすめるためには、人員配置や労働条件など人間らしく働ける環境をつくることが不可欠です。ところが、維新府政は、労働条件の切り下げをすすめる一方で、教

育、医療、介護・福祉など1551億円(7年間)もの関連予算を削減しました。現場で働く労働者から怒りの声が上がっています。大阪府の権限と財源を活用し、暮らしを充実させる府政にしましょう。

## 医療

### 府民のいのちと健康を守る医療体制を

維新府政は、千里救命救急センターへの単独補助をいきなり全額カット。その結果、看護師不足で一時病床を縮小するなど救急医療に支障が生じました。住吉市民病院の廃止など、住民のいのちと健康を切り捨てることは許せません。



## 学校

### 子どもたちが大切にされる学校・教育への転換を

8年間の維新府政は、子どもと教育に悪影響を与えています。教職員が病気や出産で長期間休んでも、代替教員が配置されない学校が多数まわっています。学校内の子どもの暴力件数は3年連続で全国最多。府独自の35人学級も広がられていません。教育費を増やし、ゆき届いた教育ができるようにしましょう。



## 福祉施設

### 保育・福祉職場の人手不足を解消し、ゆきとどいた福祉の実現を

維新府政は、高齢者住宅改造助成の廃止や特養ホーム建設補助の削減など府民犠牲をすすめ、また、保育士など福祉職員の確保・育成をめざす福祉予算を廃止しました。民間の福祉職場は、劣悪な労働条件で退職者が相次ぎ、深刻な人手不足になっています。その結果、長時間・過密労働などの悪循環が続いています。働き続けられる労働条件にし、人権が守られるケアができるようにしましょう。

## 若者

### ブラック企業を規制する府政に

「残業代が出ない」「突然辞めてくれと言われた」という声が、今なお後を絶ちません。若者を使い捨てにする働かせ方は許せません。「安心して働き、生活できる賃金の実現」「正社員が当たり前」の社会めざし、公契約条例やブラック企業を規制する条例などをつくりましょう。



## 非正規

### 非正規切りは許せません 正規化を応援する府政に

「非正規労働者の正規化」「雇用の安定」が求められています。ところが、橋下知事(当時)は、府立高校で働く非正規事務職員350人を一方的に首切りしました。

こんな維新政治から正規雇用化を応援する府政に転換させましょう。

さよなら維新

### みんなの力で実現させましょう

- 公契約条例の実現で、地元企業と労働者の応援を
- 非正規雇用から正規雇用に転換できるよう企業を支援
- 「ブラック企業」「ブラックバイト」を規制する条例を
- 若者の就職支援の充実を
- 働く女性へのハラスメントをなくし、均等待遇の実現を